

平成21年9月30日

各 位

会社名 北雄ラッキー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 川端 敏
 (JASDAQコード: 2747)
 問合せ先
 役職・氏名 専務取締役管理本部長 後藤 扶美彰
 電話 (011) 643-3301

平成22年2月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想との差異に関するお知らせ

平成22年2月期(平成21年3月1日～平成22年2月28日)の第2四半期累計期間業績予想について、平成21年4月17日付当社「平成21年2月期決算短信」にて発表いたしました業績予想との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年2月期 連結業績予想との差異

(1) 第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

[単位:百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想(A)	23,123	147	82	23	3.57
今回実績(B)	22,537	127	57	3	0.50
増減額(B-A)	△586	△19	△24	△20	—
増減率	△2.5%	△13.5%	△30.2%	△85.9%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年2月期第2四半期)	22,467	200	131	73	11.07

(2) 修正理由

当第2四半期連結累計期間における北海道経済につきましては、景気の悪化は幾分ペースが鈍化し、下げ止まりつつあるとの景況判断が示されてはおりますものの、住宅投資・設備投資は大幅に減少したままであり、個人消費につきましても依然として大変厳しい状況のまま推移いたしました。

当社スーパーマーケット業界におきましても、消費回復の兆しが見えないなか、消費者の節約志向や生活防衛意識が一層高まり、低価格競争やポイントサービスの更なる激化が進むなど引続き厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高につきましては、消費不振に伴う買上単価の下落が大きな要因となったこと、また特に7月の天候不順による影響も大きく、当初公表予想から2.5%下回ることとなりました。

営業利益・経常利益につきましても、経営環境の厳しさを踏まえまして当社経費の削減に努め、販売費及び一般管理費を当初計画から152百万円削減いたしました。しかしながら、売上高の低迷による売上総利益の減少をカバーするまでには至らなかったこと、また子会社におきましても一部事業の縮小などの要因もあり当初利益計画を下回ったことなどにより、経常利益は当初公表予想から30.2%下回ることとなりました。

また、当期純利益につきましては上記記載のとおり営業利益・経常利益の減少に加えまして、法人税等において見積実効税率について再度検討を加えた結果、当初見込みより幾分高くなったこと、また過年度法人税等を7百万円計上したことにより、当初公表予想から85.9%下回ることとなりました。

(3) 通期（平成21年3月1日～平成22年2月28日）

通期の業績予想につきましては、平成21年4月17日付にて公表した数値から変更はありません。
今後変更がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 平成22年2月期 個別業績予想との差異

(1) 第2四半期累計期間（平成21年3月1日～平成21年8月31日）

[単位：百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想（A）	22,963	143	77	22	3.35
今回実績（B）	22,382	128	67	14	2.24
増減額（B－A）	△580	△14	△10	△7	－
増減率	△2.5%	△10.2%	△13.1%	△33.0%	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成21年2月期第2四半期）	22,301	189	118	65	9.89

(2) 修正理由

売上高につきましては、連結の修正理由と同様の理由によるものであり、当初公表予想から2.5%下回ることとなりました。

営業利益・経常利益につきましても、子会社における一部事業の縮小事由を除き、連結の修正理由と同様の理由によるものであり、経常利益は当初公表予想から13.1%下回ることとなりました。

また、当期純利益につきましても、連結の修正理由と同様の理由によるものであり、当初公表予想から33.0%下回ることとなりました。

(3) 通期（平成21年3月1日～平成22年2月28日）

通期の業績予想につきましては、平成21年4月17日付にて公表した数値から変更はありません。
今後変更がある場合は、速やかに開示してまいります。

以 上